

みどりみらい 2nd SEASON ぐんじとしのりの議会報告

2006/02/24 Vol. 81 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / mmirai@kitemachi.com

印西市議会/平成 18 年第 1 回定例会が始まります。

今回の定例会は平成 18 年度予算案の審議を中心に 2 月 24 日（金曜日）から 3 月 23 日（木曜日）まで行われます。「ぐんじとしのり」は、3 月 1 日（水曜日）午後 1 時過ぎ（予定）から、60 分間の一般質問に立ちます。以下に議会事務局を通じて執行部に提出した今回の質問内容を抜粋して記載させていただきます。なお、前回から質問の方法が変わり、再質問より「一問一答」方式を採用しますので、私は（１）（２）の順番で回答を求めていく予定です。

傍聴を希望される方は、印西市役所 5 階にて諸手続きを行い、傍聴券の交付を受け、傍聴を行うこととなります。尚、定員は 36 名です。よろしくお願い致します。

ぐんじとしのり 第 1 回（3 月）定例会 一般質問内容

以下の内容を議会事務局に既に提出し、今回の議会で質問に立ちます。

1. 財務諸表の活用について

印西市では現在普通会計の決算参考資料として貸借対照表、行政コスト計算書、そしてキャッシュフロー計算書を作成し、公表しているが、これらの財務諸表は残念ながら政策への意思決定（予算編成や実施計画等）には充分活用されていないと考える。印西市では今後どのようにして財務諸表の役割を十分に認識し、健全な財政運営をはかっていくのだろうか。

- （１） 印西市が財政分析に利用しているツールは 3 つの財務諸表のほかにどのようなものがあるのか。
- （２） これらの財務諸表を今までどのように政策の意思決定につなげてきたのか。
- （３） これらの財務諸表を使用して、今回の当初予算にどのように反映させたのか。
- （４） これらの財務諸表を政策の意思決定に結びつけるために今後どのようにシステム化を図っていくのか。

2. 2007 年問題について

団塊の世代と言われる年代の方々退職の時期を向かえ、印西市を始め日本の企業も、社会全般にこれまで経験のない転機を迎えています。一方、少子・高齢化時代がしばらく続くと考えられる現在、様々な課題を印西市としてはどのように考え、対策をとっていくのだろうか。

- （１） 印西市内全域において団塊の世代と言われている方々はどの程度住んでいるのか。
また、概ね地区ごとの比率はどのようになっているか。
- （２） 印西市役所において団塊の世代と言われ、退職する職員数はどの位になるのか。
その割合は現在の全職員に対してどのくらいの割合か。
- （３） 民間企業で働いていて、今後退職する貴重な能力の持ち主の何らかの活用策が考えられないものか。

3. 牧の原駅圏の将来について（抜粋）

- （１） 駅南側商業施設用地への企業進出について
- （２） 南環状線南側への建築について
- （３） 校庭の芝生化について

== 平成 18 年度印西市当初予算（案） ==

- * 予算規模 307 億 8684 万円（203 億 2 千万円（一般会計）/ 特別会計 104 億 6684 万円（特別会計））
- * 主要事業 5 億 1233 万円 自転車駐車場整備事業 NT 中央駅北口駐輪場整備（まちづくり交付金）
- （一部のみ 9 億 8930 万円 印西牧の原駅前公共施設整備事業 自由通路の整備他（まちづくり交付金）
- 紹介します。） 4 億 7696 万円 木下駅舎等整備推進事業 / 3 カ年計画 駅舎と自由通路の整備
- 1 億 5574 万円 障害福祉事業に要する経費 / 障害者福祉計画、基本計画の策定

印旛高校の移転について ~ 正式決定ではありません。



印旛高校移転候補地(国道 464 号 印西消防署西側)

< 移転には皆様の声大切です。 >

新聞紙上では堂本知事の発表により、移転が決定したような報道がされていますが、当該用地は市有地のため、正式な決定は千葉県への土地の売却を市議会が議決した後になります。しかし、議員の一部には印旛高校を移転すべきではないとの声が根強く、承認までに予断を許さない状況です。
(新聞報道後、市庁舎内での「土地売却に関する動き」はなく、3月定例議会では議案として上程の予定はない見込みです。今後、この紙面で随時状況をお知らせいたします。)

印西地区環境整備事業組合 平成 18 年度第 1 回定例会が開催されました。

2月10日(金)に定例議会が開催され、平成18年度の予算審議や一般質問が行われました。

(1) 予算審議について

- * 一般会計の歳入歳出予算の総額はそれぞれ47億9100万8千円と決めました。

歳入の主な内容

+ 分担金/負担金	27億7093万5千円	(印西市の負担分は、11億9469万5千円)
+ 組合債	16億5170万円	

歳出の主な内容

+ 印西クリーンセンター運転管理費	4億1350万7千円
+ 印西クリーンセンター維持管理費	6億786万3千円
+ 印西クリーンセンター環境測定費	981万8千円
+ 火葬場、斎場建設事業	18億1345万9千円

- * 墓地事業特別会計予算の歳入歳出予算の総額はそれぞれ4億6707万1千円と決めました。

(2) 一般質問について

私は、環境整備事業組合における「契約、支出負担行為」についてと「温水センターの管理運営について」を質問しました。

* 「契約、支出負担行為」について

管理者から、「組合運営は業務委託が多くクリーンセンターの管理運営など、業務の特殊性から随意契約の割合が多くなっておりますが、契約事務に関しましては、公平性及び透明性の確保に留意しており、可能な限り入札を取り入れていくこととしております。」との回答があり、平成16年度の全体の契約件数は101件で、支出負担行為額は、約10億6,000万円となっているとの回答を得ました。
~私は、契約の公平性、正当性を市民に示すためには、やはり競争入札が一番ふさわしく、また随意契約については、厳格な適用をすべきである旨を伝え、契約制度のあり方を考えるように申し入れました

* 「温水センターの管理運営」について

温水センターの赤字削減のために今後組合では、どのような管理運営を行っていくのかを中心に質問を行いました。管理者からは、昨年度から利用者減少を抑えるためにイストラカ-の配置や各種教室の開催等の施策を取り入れる一方、運営管理と設備管理を分けて業務委託するなど、効率的な管理・運営を図っているが近隣にボ-ツカブや温泉入浴施設等の類似施設が開業していることもあり、利用者増を期待することは難しい状況との回答を得ました。~私は指定管理者制度の導入による民間企業による運営も早急に検討すべきとの意見を述べさせていただきました。

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と手を携えていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

ぐんじとしのり